



## REDD プラス公開セミナー開催 気候変動と途上国の森林を考える2日間 ～グリーン・エコノミーの時代における熱帯林保全～

### ポイント

- ・ 途上国の森林保全を通じた地球温暖化対策であるREDDプラスの推進に関する公開セミナーを開催します。
- ・ この公開セミナーは、実効性のあるREDDプラスの枠組みの構築と民間の取組みの促進を目的とするものです。
- ・ 公開セミナーは、平成25年2月7日（木）・8日（金）の2日間開催します。  
1日目：参加型セミナー 「REDDプラスって何？ ～植林からREDDプラスへ～」  
2日目：技術セミナー 「REDDプラスフェーズ3へのシナリオ」
- ・ 1日目は、熱帯林保全や環境保全に関心を持つ民間企業、関係団体、市民の方々に参加を呼びかけ、途上国の森林を保全するために何をすべきかを考えます。2日目は、REDDプラスに取り組む国の方々を迎え、民間企業、専門家、政府関係者の方々の参加も得て、REDDプラスの実施に向けた技術的な課題について意見交換を行います。

### 概要

独立行政法人森林総合研究所は、早稲田大学環境総合研究センター等と共催で、平成25年2月7日（木）・8日（金）の2日間、REDDプラス推進のための公開セミナーを下記のとおり開催します。

### 記

1. 日 時：平成25年2月7日（木）・8日（金） 10:00～17:15（開場9:30）
2. 場 所：早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール（東京都新宿区西早稲田）
3. 内 容：1日目：様々な立場から途上国の森林保全に参加する方策について考える参加型セミナー  
2日目：フェーズ3に向けた技術的課題の整理と先進的知見の共有を目的とした技術セミナー
4. 参加費：無料
5. 使用言語：日本語・英語（2日間とも同時通訳）

### 問い合わせ先など

独立行政法人 森林総合研究所 理事長 鈴木 和夫  
研究推進責任者：森林総合研究所 研究コーディネータ 松本 光朗  
研究担当者：森林総合研究所 REDD研究開発センター 藤間 剛  
塚田 直子  
広報担当者：森林総合研究所 企画部 研究情報科長 秦野 恭典  
TEL：029-829-8130 FAX：029-873-0844

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。

## 背景・経緯

開発途上国における森林減少は 1960 年代から地球規模の課題として認識され、その対策について国際的な議論が続けられてきました。しかし、開発途上国における森林減少・劣化は、往々にして経済発展に伴って引き起こされているという面もあるため、抜本的な対策が進んでいませんでした。このような中、2005 年の気候変動枠組条約第 11 回締約国会合 (COP11) でパプア・ニューギニア、コスタリカから、開発途上国による森林減少からの排出削減努力に対し経済的なインセンティブを与える仕組み REDD (途上国における森林減少に由来する排出の削減) の創設が提案されました。この提案は画期的な温室効果ガス排出削減策として、先進国・途上国双方の関心を集め、COP の主要議題の一つとして、技術論・財源論両面にわたる検討が続けられています。

近年では、生物多様性への悪影響、森林資源に依存する地域住民への配慮の欠如などの懸念に対するセーフガードの重要性も指摘されています。さらに、2012 年 6 月ブラジルで開催された Rio+20 においては、企業活動の持続性の観点から自然環境への負荷の軽減を図るといった考え方が民間から提言され、熱帯林保全に向けた新たな流れとして注目を集めるとともに、企業が従来の CSR 活動を越えて企業活動の根幹に係わる活動として森林保全活動に取り組む動きが広がりつつあります。

このように、REDD プラスや熱帯林保全をめぐる議論は複雑化し、その手法についてもクレジット市場ベース、非市場ベースの二つの大きなアプローチが模索される状況になってきています。具体的行動への取り組みを進めるために、熱帯林保全をめぐる今何が起きているのかという情報を共有するとともに、熱帯林を未来の世代に引き継ぐという大きな目的に向かって幅広い視点から議論することが求められています。

## 内容・意義

気候変動枠組条約 (UNFCCC) や生物多様性条約 (CBD) の下で行われている REDD プラスに関する国際交渉の動向、自主的炭素市場や二国間の枠組みによる実証活動の動向、REDD プラスに関する国際的な情勢、国内民間企業による CSR 活動、ラベリング等の動向等を踏まえ、REDD プラスの実効性ある枠組みの構築と民間等による取組みの促進を目的として、以下の 2 つのセミナーを連続する 2 日間にわたって開催します。

- (1) 様々な立場から途上国の森林保全に参加する方策について考える参加型セミナー
- (2) フェーズ 3 に向けた技術的課題の整理と先進的知見の共有を目的とした国際セミナー

これらのセミナーは、熱帯林を未来の世代に引き継ぐという大きな目的に向かって、民間企業、関係団体、NGO、市民、研究機関、教育機関、政府関係者が、それぞれの立場、それぞれのアプローチを通じてどのように関わって、どのように共通のゴールを目指していくべきかについて、幅広い視点から意見交換を行うことによって、今後の具体的な行動につなげていくためのものです。

REDD プラスの実施に関わる全ての民間企業、団体、個人、行政機関の方々はじめ、関心のある市民の方々にも是非参加していただきたいと考えています。